

(参考資料9)各種サポートツール

中小企業及びその支援機関等向けに、以下の各種サポートツールが整備されている。

(1)ローカルベンチマーク(経済産業省)

企業の経営状態の把握、いわゆる「健康診断」を行うツールとして、企業の経営者等や金融機関をはじめとする支援機関等が、企業の状態を把握し、双方が同じ目線で対話を深め、お互いに課題を認識し、行動につなげていくための基本的な枠組みであり、事業性評価の「入口」として活用されることが期待されるものである。

◆ 「ローカルベンチマーク(通称:ロカベン)」

https://www.meti.go.jp/policy/economy/keiei_innovation/sangyokinyu/locaben/

(2)経営デザインシート(内閣府知的財産戦略推進事務局)

これから提供したい価値やそのビジネスモデルと資源等の事業の将来像を構想し、それに向けた戦略を策定するためのツールである。中小 M&A においては、譲り受け側が、譲り渡し側の協力を得て、統合後の自社の将来を構想する場面等で活用することができる。

◆ 「経営をデザインする」

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/keiei_design/



(3)スマート SME サポーター(経済産業省中小企業庁)

中小企業の生産性向上に資する IT ツールを提供する IT ベンダー等を情報処理支援機関(スマート SME サポーター)として認定する制度である。

◆ 「認定情報処理支援機関(スマート SME サポーター)制度」

<https://www.smartsme.go.jp/>